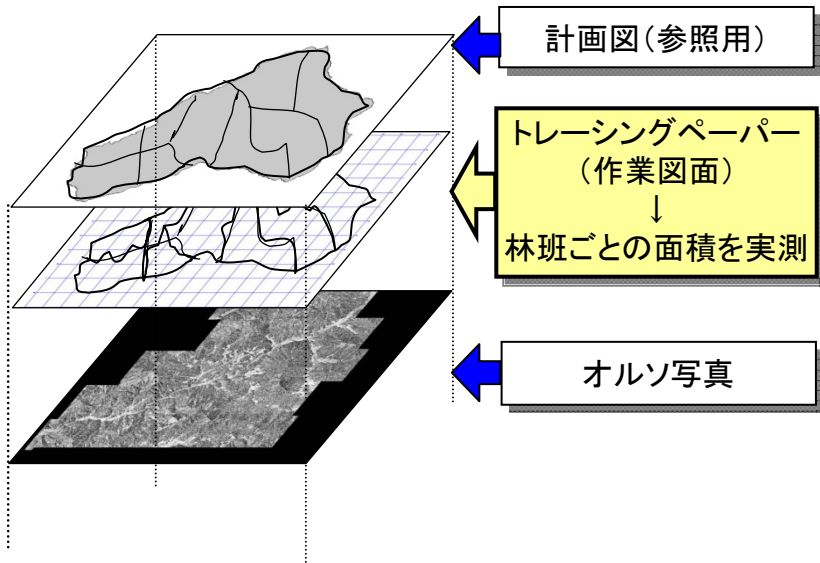


④算定に使用される森林簿の検証・品質向上

- 京都議定書に係る森林による炭素の吸収量の算定・報告に当たっては、吸収・排出量だけでなく、使用したデータの検証、品質の向上なども併せて求められます。
- このため、森林総合研究所では、算定・報告に活用する森林簿のデータについて検証を行うとともに、品質の向上に向けた取組みを行いました。

面積の検証

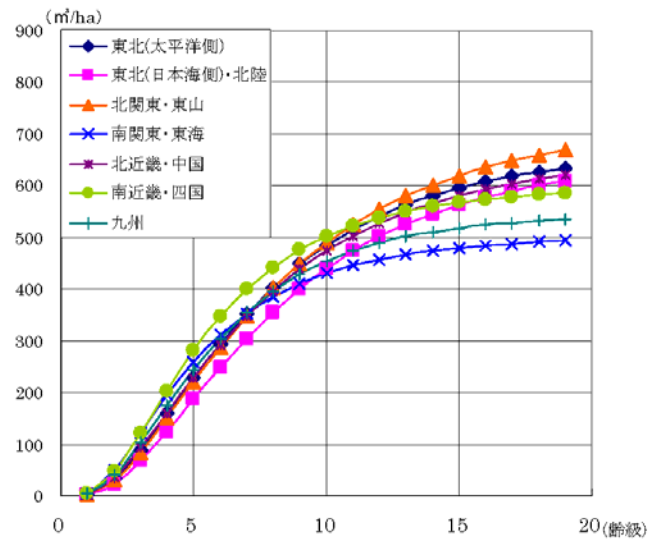
○林班単位で、森林簿の記載面積とオルソ空中写真上の森林面積を森林計画図を参照しながら比較・検証。



面積比較の作業手順

蓄積の検証

- 全国約16,000箇所において、樹木の材積(蓄積)の精度検証のための調査を実施。
- 人工林の多くを占めるスギ、ヒノキ及びカラマツについて、より正確に炭素吸収量を算定するため、齢級別に単位面積当たりの蓄積量を表す収穫表を新たに調製。



新たに調製したスギの収穫表

